

U-CAN

JLPT
Japanese Language Proficiency Test

日本語能力测试

N1

一问一答集



附赠红色卡片

语法

新試験に完全対応！

- 语法重要项目一册涵括
- 红色卡片帮您随时随地学习
- “まとめページ” 梳理语法要点



商務印書館
The Commercial Press

U-CAN

JLPT
Japanese-Language Proficiency Test

日本語能力测试

N1 一问一答集

语法

商务印书馆
2012年·北京

图书在版编目(CIP)数据

U-CAN日本語能力测试N1一问一答集. 语法/U-CAN日本語能力测试研究会编. —北京: 商务印书馆, 2012

ISBN 978 - 7 - 100 - 08817 - 6

I. ①U… II. ①U… III. ①日语—语法—水平考试—自学参考资料 IV. ①H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第259985号

Original Japanese edition Copyright © U-CAN, Inc. 2010

Chinese Translation Copyright © 商务印书馆 2011

China Commercial Press published this book by transferring the copyright of Japanese version under license from U-CAN, Inc. in Japan

through YYG International Rights Agency Beijing All rights reserved.

This edition is available for sales in China Mainland Only.

所有权利保留。

未经许可,不得以任何方式使用。

U-CAN日本語能力测试N1一问一答集(语法)

商务印书馆出版

(北京王府井大街36号 邮政编码 100710)

商务印书馆发行

北京瑞古冠中印刷厂印刷

ISBN 978 - 7 - 100 - 08817 - 6

2012年7月第1版

开本 787 × 1092 1/32

2012年7月北京第1次印刷

印张 10½

定价: 28.00 元

出版说明

近年来，随着参加日语能力测试的考生范围持续扩大、考试目的多样化，各类考生对测试的要求和建议也越来越多。因此，基于迄今为止的测试成绩数据，日本国际交流基金会和日本国际教育支援协会运用20多年来对日语教育学和测试理论的研究成果，对日语能力测试的内容进行了改版，并决定自2010年开始实施新的日语能力测试。

U-CAN是日本一家大型综合类教育培训机构，从事教育培训多年，有着丰富的经验。《一问一答集（语法）》由U-CAN日语能力测试研究会主编，对新的日语能力测试的出题内容进行了详细分析，将日语能力测试中出现的语法现象集中说明，针对性地提出了有效对策，并在“まとめページ”中对语法要点进行确认。该图书自在日本国内上市以来销量甚佳，受到读者广泛好评。我馆原版引进了《一问一答集（语法）》，衷心希望能帮助参加日语能力测试的考生，切实提高其日语水平及应试能力。

商务印书馆编辑部

2012年5月

はじめに

本書は、新しい「日本語能力試験」の文法分野の対策問題集です。過去に出題された文法の問題に加え、これから新試験で出題が予想される文法の問題も数多く含まれているので、しっかりと学習ができます。何度も繰り返し練習し、要点を整理するのに役立ててください。

本書のポイント

ぶんぼう きほん じこう もうら もん

文法の基本事項を網羅した360問！

⇒ 過去に出題された問題と、新試験の傾向を分析し、本試験までにしっかり確認しておきたい文法項目を総点検できる問題集です。

おうだんてき がくしゅう

横断的に学習できるまとめページつき

⇒ 「重要ポイントまとめてCheck!!」で、重要項目を効率よく覚えられます。

も はこ へん り あか

持ち運びに便利なB6サイズ&赤シートつき！

⇒ いつでもどこでも手軽に学習ができます。

本書が、読者の皆様方の「日本語能力試験」合格の手助けになれば幸いです。

ねん がつ
2010年11月

にほん ごのうりよくしけんけんきゅうかい
ユーキャン日本語能力試験研究会

はじめに	3
目次	4
本書の使い方	6
この本で使われている文法用語の説明	8
試験概要	10
文法の試験対策	12

文法一問一答問題

第1章 ● 文の文法1 (文法形式の判断)

1 助詞接続Ⅰ	
～に／～と／～を／～は／～も	14
2 助詞接続Ⅱ	
～で／～から／～すら／～だに／～のみ／～まで 他	36
3 動詞接続Ⅰ	46
4 こと／もの／ところ／ゆえ／その他	60
5 名詞接続	68
6 ～ず	78
7 助詞接続Ⅲ その他 (よう／だけ／ぐらいなど)	86
8 動詞接続Ⅱ	98
9 副詞・副詞的表現	104

第2章 ● 文の文法2 (文の組み立て)

1 助詞接続	128
2 動詞接続	156
3 名詞接続	178
4 ～ず	184
5 副詞・副詞的表現	190

第3章 ● 文章の文法

1 基本問題	222
2 応用問題	266

索引	331
----	-----

Point 1	助詞Ⅰ [は／も／を／に]	42
Point 2	助詞Ⅱ [に／と]	43
Point 3	助詞Ⅲ [に／と]	44
Point 4	助詞Ⅳ [で／から／すら／だに／のみ／まで／その他]	45
Point 5	動詞接続Ⅰ [辞書形／マス形／テ形／タ形／バ形／ナイ形]	66
Point 6	動詞接続Ⅱ [ゆえ／そば／かたわら／もの／こと／ところ／ごとく]	67
Point 7	名詞接続Ⅰ	84
Point 8	[～ず]	85
Point 9	助詞Ⅴ [を／は／と／に]	154
Point 10	助詞Ⅵ [だけ／から／その他]	155
Point 11	動詞接続Ⅱ [辞書形／マス形／テ形／タ形／ナイ形／バ形]	176
Point 12	副詞・副詞的表現Ⅰ	218
Point 13	副詞・副詞的表現Ⅱ	219
Point 14	副詞・副詞的表現Ⅲ	220
Point 15	副詞・副詞的表現Ⅳ	221
Point 16	文末表現Ⅰ	262
Point 17	文末表現Ⅱ	263
Point 18	文末表現Ⅲ [～ない]	264
Point 19	文末表現Ⅳ	265
Point 20	文末表現Ⅴ	326
Point 21	文末表現Ⅵ	327
Point 22	文末表現Ⅶ [～か／～だろうか／その他]	328
Point 23	接続詞／文頭表現	329
Point 24	敬語・使役依頼	330

この本は、一問一答の問題ページとポイントまとめページで構成されています。問題・解説ページで知識を確認、まとめページで重要ポイントを整理することができます。



いちもんいつた
一問一答で
知識を確認

まずは、赤シートで右ページ^{みぎ}の正答^{せいたう}・正解文^{せいがいぶん}を隠しながら問題^{もんだい}を解き、自分の理解度^{りかいど}を確認^{かくにん}しましょう。



みぎ かいせつ
右ページの解説をチェック

まちが^{まちが}い^{もんだい}な問題は意味^{いみ}や接続^{せつぞく}を確認^{かくにん}しましょう。正解^{せいがい}した問題^{もんだい}も例文^{れいぶん}などを確認^{かくにん}し、確実に理解^{りかい}しましょう。



文の文法 1 (文法形式の判断)

1 助詞接続 I ~に/~と/~を/~は/~も

次の文の () に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

Q 001

この赤ちゃんは、まだ歩くこと () 立ち上がることもできない。

- 1 にどうか 2 かどうか
3 におろか 4 はおろか

Q 002

この車は、性能 () 何と言ってもデザインがすばらしい。

- 1 にかかわる 2 ともなると
3 をかわきりに 4 もさることながら

Q 003

小沢君 () この仕事を任せられる者はいない。

- 1 のみならず 2 をおいて
3 にもかわらず 4 といえども

これだけ！は押さえておきたい基本項目を問う問題です。

問題を解いたら〇に印をつけましょう。問題にも解説にも2回分ついてるので、繰り返し解いて知識を定着させましょう。

特に重要な文法には★マークをつけています。しっかりと確認して確実に覚えましょう。

日本語や日本についての豆知識などです。勉強をちょっと一休みしたい時に楽しく読めるコーナーです。



まとめページで知識を横断整理

じょうようこうもく 重要項目は、まとめページでしっかり確認
ちしき せいいり し、知識を整理しましょう。

重要ポイント

まとめてCheck!!

3 助詞Ⅲ【に／と】

【動詞＋助詞】

助詞	接 続	例
に	動詞辞書形＋に＋た	彼は使うするにた人輪だ
	動詞辞書形＋と＋もなく／なしに*	意の外を見ることもなく見ていた
	普通体＋と＋はいえ	3月になったとはいまだまだ寒い
	動詞普通体＋と＋あって／あれば**	1億円が当たるとあって玉くじは大人気だ
と	動詞普通体＋と＋したところで	旅行に行けるとしたところで台風りだろう
	普通体＋と＋思いきや	女だろうと思いきや、男だった
	普通体＋と＋は	彼女でさえ合格できなかったとは
	普通体＋と＋ばかりに**	静かにしろとばかりににらんだ

ここも大事?

同じ意味の言葉

- * 1 「～ともなく」≠「～ともなしに」
- * 2 「静かにしろとばかりに」≠「静かにしろと言わんばかりに」

似ている言葉

- * 3 「～とあって」：～という理由も
- 「～とあれば」：～という条件も

じょうよう ひょうけいしき
重要ポイントを表形式
で整理しました。

『ここも大事!』は関
連しておぼ
てておくべき
事項です。あわせて覚
えましょう。赤シート
を使うと効果的です。

001

正解文 この赤ちゃんは、まだ歩くこと
することもできない。

意味 X Yも：XだけでなくYも
も（～ない）

接 続 [名詞]＋ [名詞]

例 忙しくて、食 **赤シートで**
文字を **隠** せます!

正答 4

002

正解文 この車は 性別 何と言ってもデ
ザインがすばらしい。

意味 X Yも～：XだけでなくYも～

接 続 [名詞]＋ [名詞]（＋も）

例 リーさんは、日本語 英語も上手だ。

正答 4

003

正解文 小沢君 この仕事を任せられる者はいない。

意味 X （～いない・ない）：X以外には

ちゅあつと

カタカナ略語その1

日本語にはカタカナ表記の外来語などを省略した、いわゆる
カタカナ略語が多くあります。覚えておくと会話をする
際に役立ちます。

解説ページ

正解文 空欄を埋めた文や並
び替えた後の文を表して
います。正答の部分は「文
の文法1」「文章の文法」
では赤い字にしており、
「文の文法2」では赤い太
字にして二重線を引いて
います。

意味 文型の意味を表して
います。

接 続 文型の接続の形を表
しています。

例 例文を表しています。

※このページは本書の使い方を説明するための見本です。

この本で使われている文法用語の説明

どう し
動 詞

五段動詞(グループⅠ・動詞1) 例 行く

一段動詞(グループⅡ・動詞2) 例 食べる

不規則動詞(グループⅢ・動詞3) 例 する、来る

動詞辞書形 例 食べる、行く

動詞テ形 例 食べて、行って

動詞マス形 例 食べ、行き

(「ます」に接続する形式)

動詞ナイ形 例 食べ、行か

(「ない」に接続する形式)

動詞テイル形 例 食べている、行っている

動詞タ形 例 食べた、行った

動詞バ形 例 食べれば、行けば

動詞意向形 例 食べよう、行こう

動詞可能形 例 食べられる、行ける

動詞受け身形 例 行かれる

めい し
名 詞

名詞 例 学生

けいよう し
イ形容詞

イ形容詞辞書形 例 寒い

イ形容詞ナイ形 例 寒く

(「ない」に接続する形式)

イ形容詞テ形 例 寒くて

けいよう し けい
イ形容詞タ形

例 さむ 寒かった

けいよう し けい
イ形容詞バ形

例 さむ 寒ければ

けいよう し ナ形容詞

けいよう し し しょけい
ナ形容詞辞書形

例 げん き 元気だ

けいよう し けい
ナ形容詞ナイ形
(「ない」に接続する形式)

例 げん き 元気じゃ、元気では

けいよう し けい
ナ形容詞テ形

例 げん き 元気で

けいよう し けい
ナ形容詞タ形

例 げん き 元気だった

けいよう し ごかん
ナ形容詞語幹

例 げん き 元気

けいよう し
ナ形容詞ナ

例 げん き 元気な

けいよう し けい
ナ形容詞バ形

例 げん き 元気であれば、元気なら

ふ つうたい 普通体

ふ つうたい ふ つうたい ぶん ぶんまつけいしき
普通体 (普通体の文の文末形式)

どうし
(動詞)

例 た 食べる、た 食べない、た 食べた、た 食べ
なかつた、た 食べている、た 食べてい
ない、た 食べていた、た 食べていなか
つた

めい し
(名詞)

例 がくせい 学生だ、がくせい 学生じゃ／ではない、がく
せい 学生だった、がくせい 学生じゃ・ではなかつ
た、がくせい 学生である、がくせい 学生であった

けいよう し
(イ形容詞)

例 さむ 寒い、さむ 寒くない、さむ 寒かった、さむ 寒
なかつた

けいよう し
(ナ形容詞)

例 げん き 元気だ、げん き 元気じゃ／ではない、げん
き 元気だった、げん き 元気じゃ／ではなかつ
た、げん き 元気である、げん き 元気であった

に ほん ご の う り ゃ く し けん 日本語能力試験とは

に ほん ご の う り ゃ く し けん に ほん ご ほ ご ひ と に ほん ご の う
日本語能力試験は、日本語を母語としない人の日本語能
り ゃ く そ く て い に ん て い し けん
力を測定し認定する試験として、1984年より開始されまし
た。開始当初の受験者数は全世界で7,000人ほどでしたが、
かい し どう し ょ じ ゅ けん し ゃ す う ぜん せ かい
近年の受験者数は全世界で70万人を超え、世界最大規模の
きん ねん じ ゅ けん し ゃ す う ぜん せ かい まんにん こ せ かい さい だい き ほ
日本語の試験となっています。近年の受験者層の拡大と受
けん も く て き へん か たい お う
験目的の変化に対応するために、2010年7月より新試験が
じ し し
実施されています。

に ほん ご の う り ゃ く し けん し けん か も く し けん じ か ん と く て ん 日本語能力試験 (N1) 試験科目・試験時間・得点

N1の試験科目、試験時間、得点区分などは以下のとお
りです。

し けん か も く 試験科目	し けん 試験 じ か ん 時間*1	と く て ん く ぶ ん 得点区分	と く て ん 得点の はん い 範囲*2
げん ご ち し き ち 言語知識 (文 じ ご い ぶん 字・語彙、文 ぼう ど っ か い 法)、読解	110 ぶん 分	げん ご ち し き 言語知識 ち じ ご い ぶん ぼう (文字・語彙、文法)	0 ~ 60 てん 点
		ど っ か い 読解	0 ~ 60 てん 点
ち ょ う か い 聴解	60 ぶん 分	ち ょ う か い 聴解	0 ~ 60 てん 点

*1 し けん じ か ん へん ぐ ろ ば あ い
試験時間は変更される場合があります。

*2 と く て ん そ う ぐ ろ てん
得点の総合は0~180点です。

具体的なN1の認定の目安は、『新しい「日本語能力試験」ガイドブック』によると、次のとおりです。

読む	幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。
聞く	幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。

文法 (N1) の出題数とねらいについて

N1の文法問題の大問は以下のとおりです。「文の文法2」と「文章の文法」は新試験で出題されるようになった新しい問題形式です。

大問	小問数	ねらい
文の文法1 (文法形式の判断)	10問	文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができるかを問う
文の文法2 (文の組み立て)	5問	統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができるかを問う
文章の文法	5問	文章の流れに合った文かどうかを判断することができるかを問う

文法の試験対策

日本語能力試験N1のうち、本書で学習する文法について、大問ごとに対策を解説します。

「文の文法1」の本書を使った対策

主に文の途中の「接続表現」を問う問題ですが、「文末表現」の問題も出るので、注意してください(⇒本書ではQ271～Q330が対応しています)。旧試験から問題形式に変更はないので、確実に得点できるようにしましょう。

「文の文法2」の本書を使った対策

4つに分けられた言葉を並べ替える問題です。まず、文法用語を見つけて、その前後の接続に注意しましょう。例えば「ならではの」の場合、前も名詞、後ろも名詞です。それが分かれば答えが見えてきます。選択枝を見て、しっかりと文を組み立てられるようにしましょう。

「文章の文法」の本書を使った対策

特に、「文末表現」、接続詞などの「文頭表現」、そして、述語と関係のある「副詞・副詞的表現」、の3つに絞って練習しましょう。また、1つの文の中の「接続表現」と「文末表現」が同時に出题されることがあります。本書では、短い文章の「基本問題」と本試験に近い形式の「応用問題」に分けて出题しています。文章の流れに合った文を、素早く判断できるように練習しましょう。

文 法

一問一答問題

文の文法 1 (文法形式の判断) …P14

文の文

2 (文の組み立て) …P128

文章の文法—基本問題 …P222

文章の文法—応用問題 …P266



文の文法 1 (文法形式の判断)

I 助詞接続 I ～に／～と／～を／～は／～も

次の文の () に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。



この赤ちゃんは、まだ歩くこと () 立ち上がることもできない。

1 にどうか

2 はどうか

3 におろか

4 はおろか



この車は、性能 () 何と言ってもデザインがすばらしい。

1 にかかわる

2 ともなると

3 をかわきりに

4 もさることながら



小沢君 () この仕事を任せられる者はいない。

1 のみならず

2 をおいて

3 にもかかわらず

4 といえども